

2026年1月

少年少女審判員表彰について

西地区（文責 地区長付 安川）

【使用に当たって】

（賞状）

1. Word ファイル（「殿付き」「殿なし」の内必要な方）をお使いください。（万一レイアウト崩れが発生した場合は各団でご対応ください。）PDF ファイルも添付しております。

2. 用紙

- ・ やや厚口ものが適しています。実績のある品番を記載しておきます。（使用実績が古くすでに廃版になっている可能性もあります。ご容赦ください）

－A4 マット 紙厚 0.15 mm 以上

KOKUYO / KJ-M16A4 厚みしっかりタイプ 0.15

KOKUYO / KJ-M15A4 厚紙用紙 0.21

EPSON / KA450MM フォトマット 0.25

3. 賞状文・日付の変更

- ・ あえて制限をかけない形でアップロードしております。推奨しませんが、万一変更されるときは、地区長名で行う地区事業であることにご留意ください。また強い要望として、「チームの仲間だけでなくサッカーをする仲間のためにとても役に立ってくれました」の一文については変更も削除もされないことをお願いします。
- ・ 日付が記載されている背景については経緯をご参照ください。
- ・ 「少年」「少女」について、養成制度は本来神戸市少年サッカーリーグにおける「少年・少女公認審判員規程」に則り運営されることとなるのですが、地区内事業であり、こだわりの必要はないと思います。「少年少女」「少年」「少女」の3パターンを用意しました。

（対象者の選定）

- ・ 各団のお考えで選定してください。（経緯参照）
 - ・ 選定する場合の基準としては、前提としての養成講習受講に加え、少年審判員証の実施記録（回数）、担当コーチによる判断等々が考えられますが各団のお考えでお願いします。

（その他）

【パスワード保護非実施について】

- ・ 従前の賞状については、印影につきそこそこリアルな地区長印を使用していたため、パスワード保護し（取扱を面倒なものにし）ていた。そこで「これを『認め』と考える人はおらへんやろ」という印影に変え、保護設定はしていない。万一の流用については斟酌ください。

【少年・少女審判員表彰の経緯】

- ・ 2002年頃地区代表者会議にて了承を得、西地区の単独事業として開始。
- ・ 当時少年審判員養成は、西地区では、4年生の春に1回・チーム当たり4人のみで6年生までこの4人だけの運営であった。
- ・ 当初、各団はこの4人の中から対象者（人数）を推薦、地区サイドで賞状作成。年度終盤の地区内カップ戦である舞子北（現須磨）ライオンズ杯表彰の際、6年生の当日参加団のチームの表彰対象者に全対象者を代表する形で、地区長から実際に表彰。非参加団には同日観戦研修形式で開催している審判講習会参加コーチに自団分を持ち帰ってもらう扱いとした。以後、表彰日はこの決勝戦開催日としている。（コロナ禍の2020/21年度は、それぞれ西地区内リーグ表彰式開催日、地区代表者会議の日に設定した）。
- ・ （2003年頃）地区内在籍の4種審判部員が養成講習を行うこととなり、この結果秋にも養成講習を実施、チームの少年審判員は最大8名となり、表彰対象者母数も倍増した。
- ・ 表彰状作成枚数の増量を受け、各団対応でお願いすることとし、ホームページへアップロードするかたちとなった。なお、使用している地区長印の印影が一般的に通用しそうな状況であったので、アップロードファイルはパスワード保護していた。上記のとおり現在は解除している。
- ・ このうち、神戸市4種が他に先駆け8人制であり、当初とは異なって養成外となる選手の方が少数、時によっては1名のみという事態も発生してきた。このため、全員養成の構えで対応することを、会場費等経費増も含め地区代表者会議了承をえて、200名キャパの会場のほか、受講者数に応じ、各団から会場の提供を受け、オールカマーの形で開催している。（コロナ禍の2021年度以降は、主として5年生以上の全員養成の構えとなった。）
- ・ 事業開始20年を越え、事業そのものの検討（継続・変更・廃止等）を図ったが、持ち越すこととなり、2年後を目処に当該検討を行う予定としている。